

「定年廃止」で、ずっと安心して働ける会社

木下株式会社

■ 経験に基づく配慮がこもったおもてなし

久留米市にある木下株式会社は久留米や佐賀、福岡で葬祭や婚礼、ホテル事業を手掛けている会社です。同社では様々な部門で多くの60代、70代の社員が職務に従事しており、60歳以上の割合は全社員の2割を超えています。

葬儀や婚礼といった仕事は、お客様との信頼関係が重要。長年の経験を持つスタッフの方々の配慮がこもった対応は、お客様から感謝の声をいただくことも多いそうです。

■ 40年も前から定年廃止

同社は定年がない会社。定年を廃止したのはなんと今からおよそ40年も前の昭和48年のこと。「企業の活力は社員の愛社精神から生まれる。社員に愛社精神を持ってもらうためには、会社と運命共同体としなくてはならない。」また「職を奪うことはその人を死に追いつめることになる。」という前社長の思いから定年廃止に踏み切ったそうです。ほとんどの企業が55歳定年であった当時としては非常に画期的な取り組みでした。定年制を廃止するということは社員が退職時期を自分で決めるということです。この取り組みにより社員が先行きに不安を抱くことなく安心して働くことができるようになりました。

会社にとっては退職金の負担が将来大きくなることが考えられます。同社ではこの課題の解決と社員に対する「幸福の



先取り」の観点から退職金制度を廃止し、退職金の前払いともいえるべき「豊かな人生積立資金」を創設しました。これは退職金に見合う金額を毎月、給料とは別に支払うもので、社員はこの資金を将来の生活資金として積み立てたり、あるいは住宅ローン返済に充てるなど将来への不安解消につなぐよう活用しているそうです。

■ 名誉のため、役職名は終身

また、役職については、社員の名誉を重んじるために役職を譲っても役職名は終身のものとし、例えば〇〇部長が役職を後進に譲った場合でも「部長」という肩書はそのまま退職時まで使用するということです。

制度導入当時、このような取り組みはまさに未知への挑戦ともいえるものだったと思われます。しかし長年の取り組みを重ねた結果、60代、70代の社員の方々はいきいきと働き、これまで積み重ねてきた経験に基づく後進への指導など会社の中でなくてはならない存在となっているようです。

木下株式会社 プロフィール

- 所在地／久留米市
- 業種／冠婚葬祭業、宿泊業
- 会社設立年／1948年
- 従業員数／179人
- 最高年齢者／81歳
- 高齢者雇用制度／定年なし

年 齢	～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～
人 数	65	11	25	35	20	13	10